

令和2年第2回定例会一般質問について (新型コロナウイルス感染症に対する議会の対応)

新型コロナウイルスの感染が拡大するなか、議会運営委員会（※）では第2回定例会（6月）の運営に関して協議を行い、一般質問については感染予防のため「自粛、短縮が必要」との方針を議会として共有し、一般質問の時間も一人あたり55分から30分に短縮することで合意しました。

これにより職員が新型コロナウイルス感染症の対応に専念できるようにする一方で、議会としてのチェック機能を果たすために、議会事務局長が市の対策本部に参加し情報収集に努め、全議員へ情報提供しました。そして、行政への質問や要望等を議会事務局でとりまとめ、担当課から回答してもらう仕組みを設け、月例の行政報告と質疑応答を充実させました。

以上の取り組みを通じて、今定例会での一般質問を控えた議員の質問・要望等も、宗像市における新型コロナウイルス感染症対策関連事業に反映されるものと考えています。

※議会運営委員会…円滑に議会を運営するために設置。議会運営全般について協議し、意見調整を図る。